

- (18) 山田晴生, 北川 渡, 三浦直人, 青木隆成, 楊 朝隆, 佐久間正人, 西川和裕, 普天間新生, 足立哲夫, 山田裕一 (分担執筆) :
[腎とフリーラジカル 第6集 (東京医学社), pp. 168-171 (2002)]
- (19) Hirokazu Hara, Tetsuo Adachi, Kazuyuki Hirano (分担執筆) :
[Handbook of Food Enzymology, (Marcel Dekker, Inc.), pp. 503-508 (2002)]
- (20) 西田弘之 (分担執筆) :
[キャンパスライフの健康管理 (岐阜新聞社) (2002)]
- (21) 坂恒夫 (分担執筆) :
[医歯薬系の物理学 (丸善) (2002)]

そ の 他

- (1) 片岡 貞 : カルコゲノーベイリスーアヒルマン反応に特有な反応の開発.
[文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 平成 12-13 年度研究成果報告書 (2002)]
- (2) 廣田耕作 : C型肝炎治療薬の現状と展望.
[岐阜県病院薬剤師会雑誌、35, 2-6 (2002)]
- (3) 廣田耕作 : 不思議な薬アスピリン — 新しい効能次々と発見 (3月31日) : 開発進む抗肥満薬 — 薬で調節できる時代へ (4月14日) : 中国製「やせ薬」 — 添加物に潜む危険性 (8月11日) : 本を読まぬ大学生 — 娯楽多様化など影響か (12月8日)
[岐阜新聞 “サンデーコラム” (2002)]
- (4) 佐治木弘尚 : P C B の簡便無毒化法の開発- 不均一系パラジウム触媒を用いた選択的化学反応とその応用- .
[鳳川ジャーナル, 12, 82-90 (2002)]
- (5) 井口英彦, 石川哲也, 石橋昭良, 勝野眞吾, 鴻谷文夫, 後藤彰, 佐治木弘尚, 杉原紗智千子, 高橋伸明, 中尾咲野, 長野健一, 松崎高志, 山田統正, 吉本佐雅子, 和田清
[文部科学省スポーツ・青少年局学校健康保健課 薬物に対する意識等調査報告書, 全 299 ページ、(2002)]
- (6) 勝野眞吾, 川原詳子, 香田由美, 小沼杏坪, 佐治木弘尚, 高橋宏徳, 高橋浩之, 永田智恵子, 並木茂夫, 吉田景一 : Operation Blue Wind
[文部科学省 薬物乱用防止教育教材 (高校生用) CD-ROM、(2002)]
- (7) 川島嘉明 : ナノテク粒子製剤の DDS 機能設計戦略.
[Drug Delivery System 17, 309 (2002)]
- (8) 山本浩充 : ペプチドの経粘膜投与を目指した生分解性微粒子製剤の設計.
[Drug Delivery System “若手研究者の広場” 18, 62-63 (2003)]
- (9) 川島嘉明 : <対談>先達の言葉 (第 13 回).
[粉体と工業 ,34, 31-42(2002)]
- (10) 竹内洋文 : DDS はどこまでできたか.
[HOHSEN JOURNAL, 12, 103-112 (2002)]
- (11) 竹内洋文 : 表面修飾による微粒子薬物キャリアーの体内動態制御およびその機構に関する研究.
[文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) (2) 平成 12-13 年度研究成果報告書 (2002)]
- (12) 永瀬久光 : 医薬分業と学校薬剤師.
[大阪府薬雑誌、53(7), 4-5 (2002)]

- (13) 永井博式：特集鼻アレルギー 各種動物アレルギーモデルで確認された小青竜湯の抗アレルギー作用
[Talks].
- [*T-webs*, 5, 6-11, (2002)]
- (14) 赤尾清剛, 酒井英二, 田中俊弘：東洋医学診療から薬草園に望むもの。
[日本植物園協会誌, 36, 53-55 (2002)]
- (15) 酒井英二, 田中俊弘：薬草園の存在意義を高める取り組み。
[日本植物園協会誌, 36, 152-157 (2002)]
- (16) 影山むつみ, 酒井英二, 田中俊弘：ハーブ, いま消費者にもとめられているもの。
[日本植物園協会誌, 36, 172-174 (2002)]
- (17) 大久保為義, 酒井英二, 田中俊弘：薬草による村おこし。
[日本植物園協会誌, 36, 175-177 (2002)]
- (18) 田中俊弘, 酒井英二：次世代へ生薬を伝えるために。
[薬事日報, 9577, “シンポジウム聞きどころ” (2002)]
- (19) 田中俊弘, 酒井英二：次世代へ生薬を伝えるために。
[日本薬学会第122年会講演ハイライト集, 45 (2002)]
- (20) 田中俊弘：食品から学ぶ健康。
その4 ショウガ[*Health Study*, 2, (2), 9-10(2002)]；その5 枝豆[*Health Study*, 2, (4), 9-10(2002)]；その6 ワサビ[*Health Study*, 2, (5), 8-9(2002)]
- (21) 田中俊弘：薬草アラカルト。
カキドオシ[華陽, (1), 61(2002)]；ジャガイモ[華陽, (2), 61(2002)]；サトイモ[華陽, (3), 59(2002)]；ラッカセイ[華陽, (4), 59(2002)]；モロヘイヤ[華陽, (5), 59(2002)]；マンサク[華陽, (6), 59(2002)]；チガヤ[華陽, (7), 59(2002)]；ツルドクダミ[華陽, (8), 59(2002)]；アマチャヅル[華陽, (9), 59(2002)]；アセビ[華陽, (10), 59(2002)]；イノコズチ[華陽, (11), 59(2002)]；タブノキ[華陽, (12), 59(2002)]
- (22) 酒井英二：薬用植物を用いた地域活性化。
[薬用植物の宝庫伊豆 記録集, 61-71 (2002)]
- (23) 酒井英二：薬草写真と解説クミスクチン。
[篝火, (98), 表紙(2002)]
- (24) 西川秋佳, 古川文夫, 小出彰宏, 森 幸雄：喫煙関連発がんの制御機構と予防に関する研究
—ラット肝 CYP1A2 及び MeIQx 誘発がんに及ぼすタバコ煙の影響—。
[平成13年度喫煙科学研究財団研究年報, 104-109 (2002)]
- (25) 井奈波良一, 奥村まゆみ, 赤尾清剛, 福田一典, 渡口信也, 藤原久義, 杉浦春雄：医学生の東洋医学に対する意識の変化。
[漢方と最新治療, 11(1), 79-82 (2002)]
- (26) 杉浦春雄：運動による免疫増強作用と免疫調節性サイトカインの遺伝子発現に関する研究。
[文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)一般 (2) 平成12-13年度研究成果報告書 (2002)]
- (27) 日野紹運(分担執筆)：
[事典 哲学の木(講談社), pp. 4-7 (2002)]
- (28) Shoun Hino:
[*Half-Verses Index to Suresvara's Vārtika on Brhadāraṇyakopaniṣad (BUBV)* Revised-Edition, (科研費成果報告)(2002)]